

広島県
商工会地域

中小企業景況調査報告書

第172回

令和5年4～6月期 実績

令和5年7～9月期 予測

令和5年7月

広島県商工会連合会

中小企業景況調査の概要

1. 調査趣旨 この調査は、中小企業の景気動向を総合的に把握するため、全国の商工会、商工会議所、中小企業団体中央会の3団体の管内の企業約18,840企業を対象に四半期ごとに実施されている。調査結果は(独)中小企業基盤整備機構で集約・分析・公表され、中小企業施策立案等の基礎資料として活かされるものである。
- 広島県商工会連合会では、県内商工会地域の最新景況データを解析、報告書に取りまとめ、商工会の経営改善普及事業が効果的に実施されることを目的として、この報告書を公表する。
2. 調査対象 (対象地区) 県内15商工会
祇園町、広島東、江田島市、呉広域、佐伯、安芸津町、広島県央、三原臨空、大崎上島町、沼隈内海、福山北、福山あしな、神石高原、三次広域、備北
(対象企業) 231社
製造業51 建設業42 小売業69 サービス業69
3. 調査方法 経営指導員による訪問面接調査
4. 調査期間 令和5年4月～6月期実績、及び令和5年7月～9月期見通し
5. 調査時点 令和5年6月1日

6. DIとは Diffusion Index (景気動向指数)の略。
各調査項目について、増加(好転)企業割合から、減少(悪化)企業割合を差し引いた値を示し、「変化の動向」を把握する。

DIがプラス(+)なら……………強気(楽観)、上昇機運

DIがマイナス(-)なら……………弱気(悲観)、低下機運

例えば、売上高で回答割合が、増加50%、不変30%、減少20%の場合、 $DI=50-20=30$ となり、全体としての経営者の強気(楽観)度合いを表している。

7. 表記基準 変化の動向(改善、悪化など)を解説する場合に用いた表記基準は次のとおり。
- 「横ばい」 0を基準に±2ポイント未満
「小幅、やや」 0を基準に±2～8ポイント未満
「大幅、大きく」 0を基準に±8ポイント以上

8. 表記基準 この集計値は、全国商工会連合会が提供する全国集計を基に、広島県商工会連合会の集計書式に収めて編集したものである。

(参考) 全国及び広島県内の経済動向について、その他機関による調査資料

■ (独)中小企業基盤整備機構 (3団体を含む全国版報告書)

https://www.smrj.go.jp/research_case/research/survey/index.html

■ 中国財務局 (中国地方の経済動向)

<https://www.chugoku.meti.go.jp/stat/keiki/index.html>

■ 広島県 (広島県経済の動向)

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/273/1244079054510.html>

1.ポイント ※(独)中小企業基盤整備機構「第172回中小企業景況調査(2023年4-6月期)のポイント」より

・中小企業の業況判断DIは、2期連続して上昇

全産業の「業況判断DI(前期比季節調整値)」は前期(2023年1-3月期)から全産業で2.9ポイント増と2期連続で上昇。産業別にみると、建設業で4.9ポイント増、サービス業で4.7ポイント増、製造業で3.2ポイント増、小売業で0.8ポイント増、卸売業で0.5ポイント増と全ての産業で上昇。来期見通しは、全産業及び建設業を除く4産業で上昇の見込み。

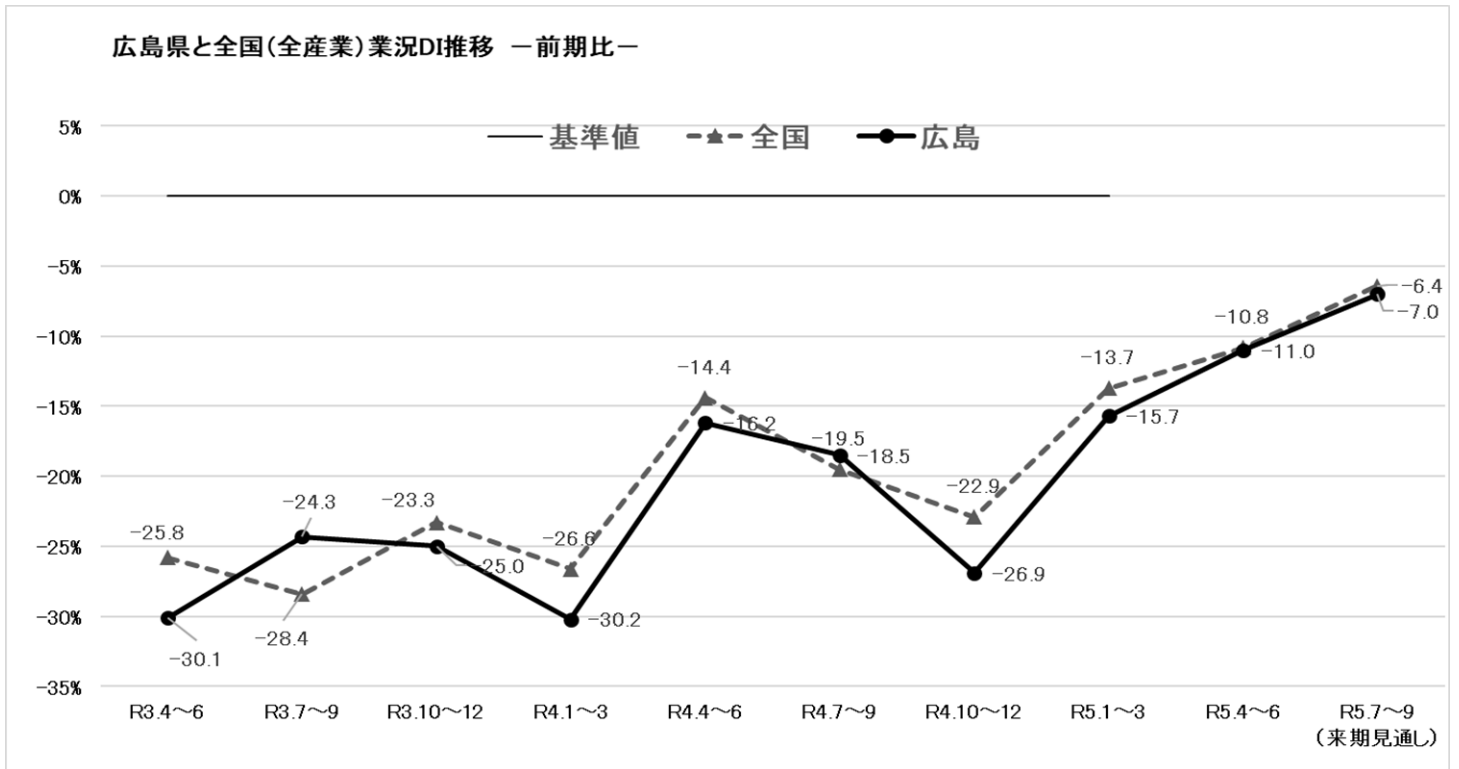
・売上単価・客単価DIは、上昇基調を継続

「原材料・商品仕入単価DI(前年同期比)」は、頭打ち傾向が見られるものの、過去最高水準を維持している。一方、「売上単価・客単価DI(前年同期比)」は、全体的に上昇基調を継続しており、製造業に続いてサービス業、小売業でも上昇傾向にあることから、中小企業においても、一定程度、価格転嫁が進んでいると考えられる。

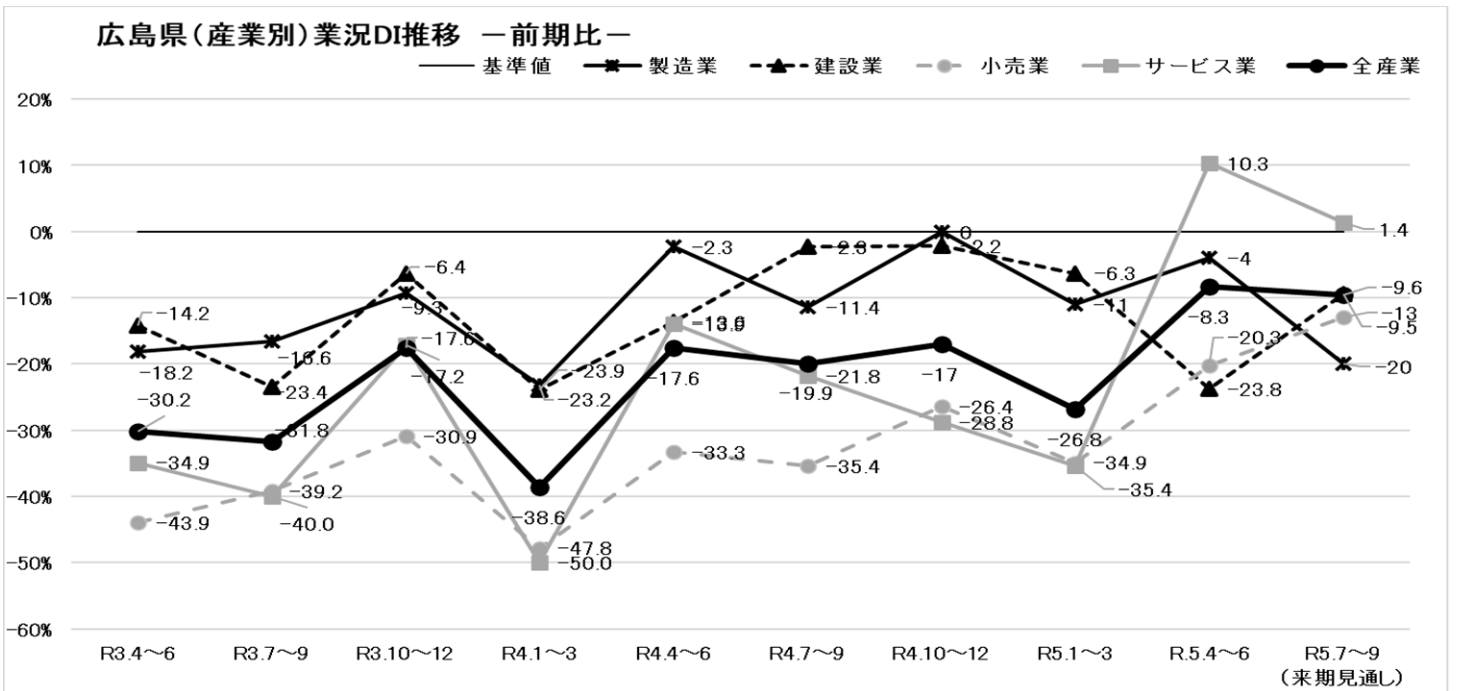
・飲食業の業況は、コロナ前の水準を超えて回復

飲食業の「業況判断DI(今期水準)」は、すべての地域でコロナ前(2019年4-6月期)の水準を超えて回復した。経営上の問題点を見ると、エネルギー等の高騰の影響もあり経費の増加が2位に、経済活動正常化に伴い従業員の確保難が3位に上昇している。

2.広島県と全国(全産業) ※商工会、商工会議所、中小企業団体中央会の3団体データを含む。



3.広島県(産業別) ※商工会地域のみ



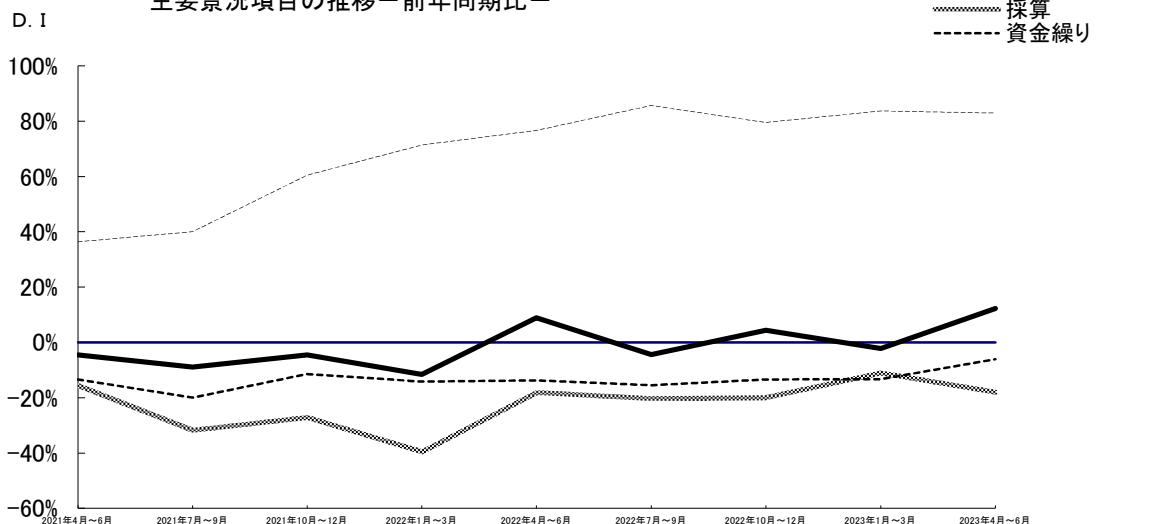
製造業（商工会地域）

1.主要景況項目の推移 -前年同期比-

主要項目	製造業 DI		(来期見通し)	
	(前期) R5.1~3	(今期) R5.4~6	前期との比較	R5.7~9 今期との比較
売上額	-2.2	12.2	↗	-12.3 ↘
原材料仕入単価	83.7	83.0	↘	73.9 ↘
採算	-11.1	-18.0	↘	-14.0 ↗
資金繰り	-13.3	-6.1	↗	-8.0 ↘

広島県 製造業

主要景況項目の推移-前年同期比-



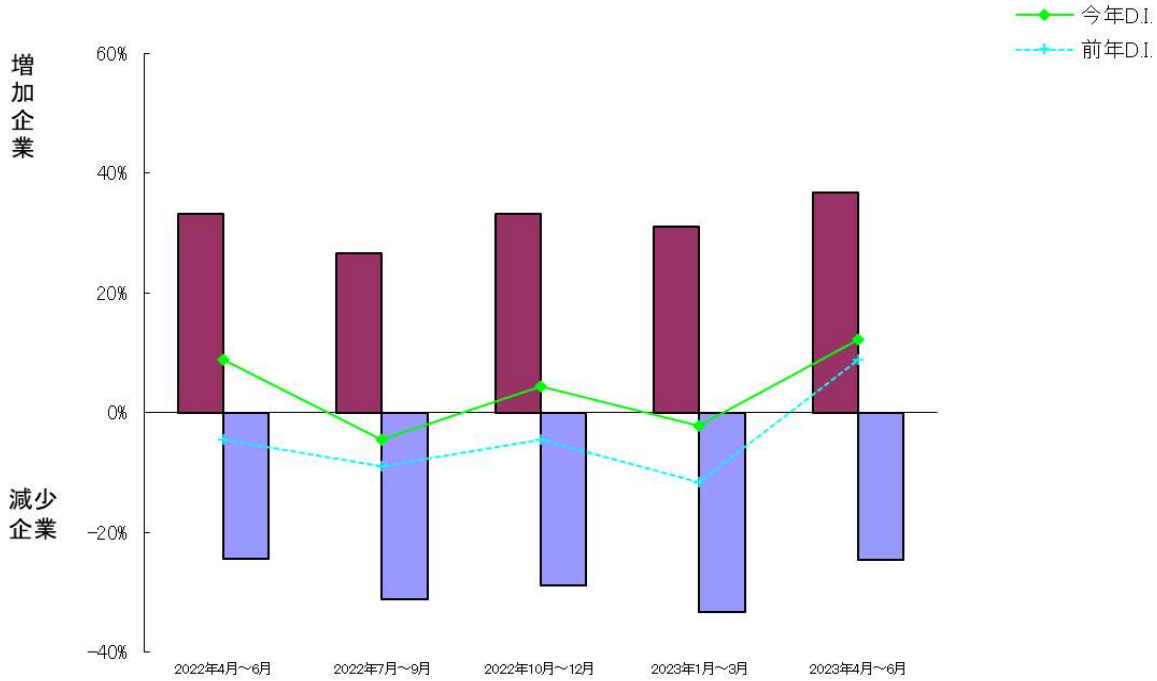
- 企業のコメント
- ・ 原材料を含め様々な物価が上昇している中、更に電力料金の値上げも決まり経費の割合が増加していますが、製品価格に上乗せは困難な状況であり、業況判断も難しい。
 - ・ 労働力を外国人に頼っている当社では、コロナの水際対策などで来日できていない影響が出て、生産が減少している。技能実習生制度の早期見直しが必要である。
 - ・ 実習生の入国の間が開くため、生産力が低下し売り上げもかなりダウンすることが見込まれています。
 - ・ 原材料や資材の値上がりのため業況がどんどん悪化してしまい不安定な事業を続けている。今後も不安しかない。
 - ・ コロナの影響もほとんどなくなり、徐々に客足が増えつつあり、売上に結果が出てきている。原材料の値上げが続くが、自社の製品の値上げはまだ実施していない。客足がやっと戻ってきているので、値上げは不安である。
 - ・ コロナの影響も静まり、徐々に客足がもどりつつあり、それに伴い売り上げも徐々に上がりつつある。

製造業（商工会地域）

2.売上額(加工額) -前年同期比-

広島県 製造業

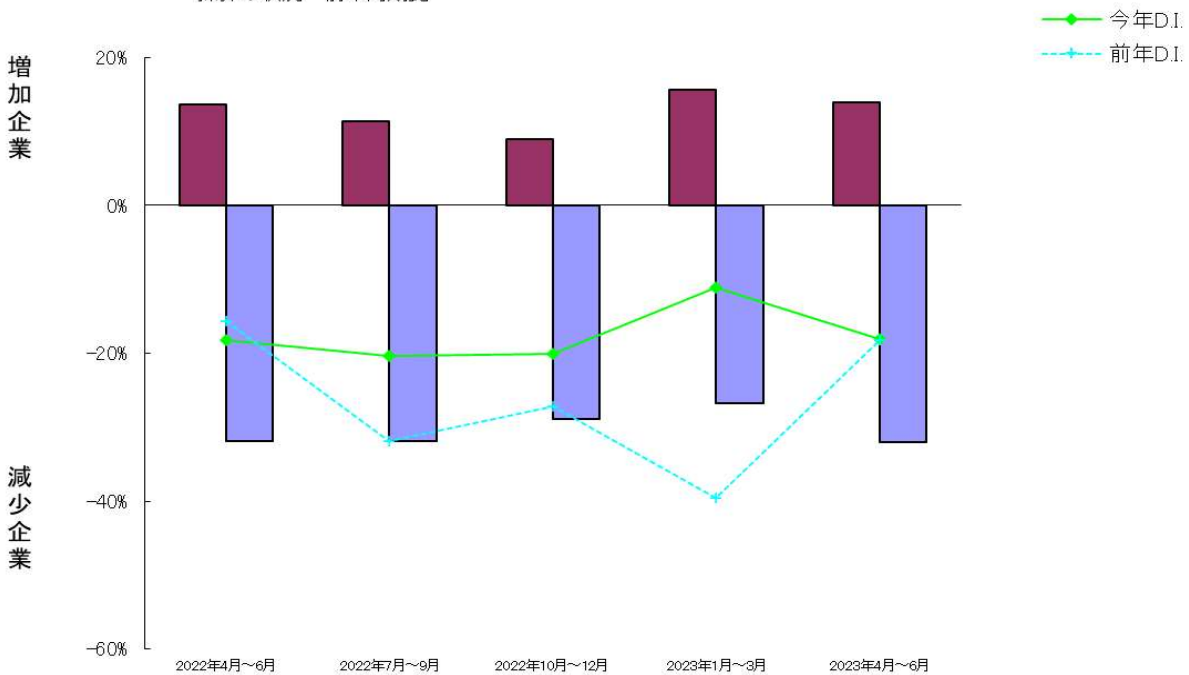
売上額の状況-前年同期比-



3.採算(経常利益) -前年同期比-

広島県 製造業

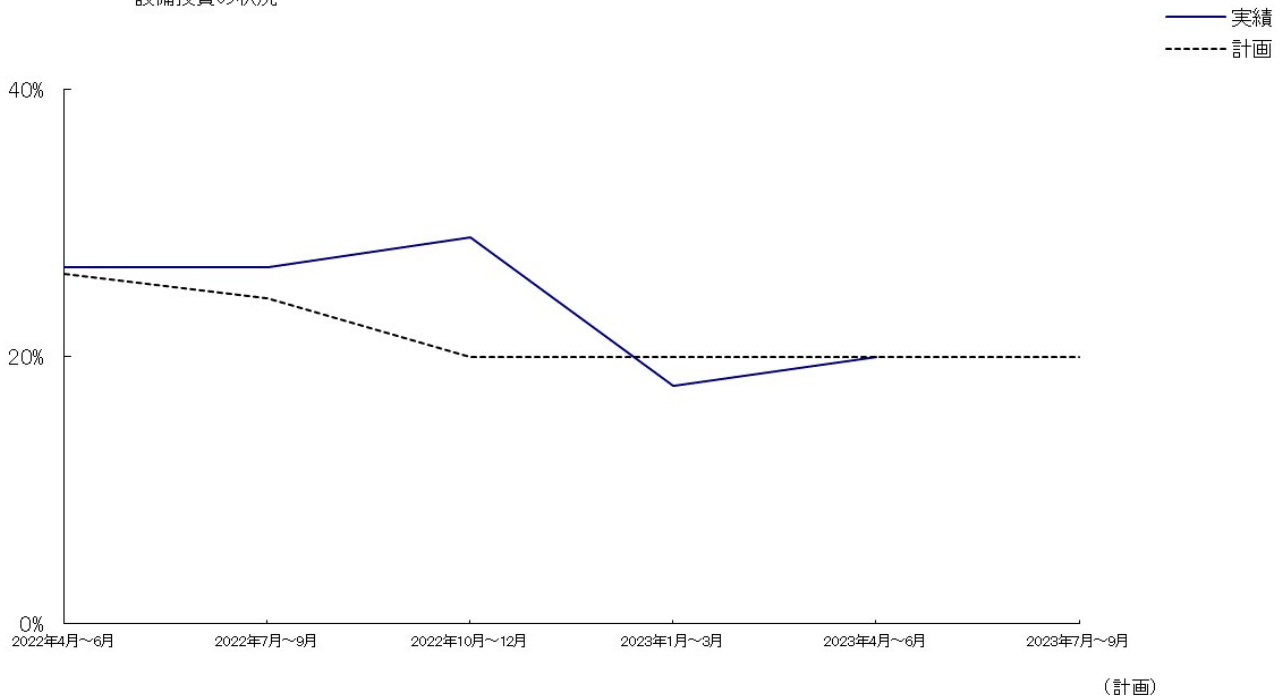
採算の状況-前年同期比-



4.設備投資の状況

広島県 製造業

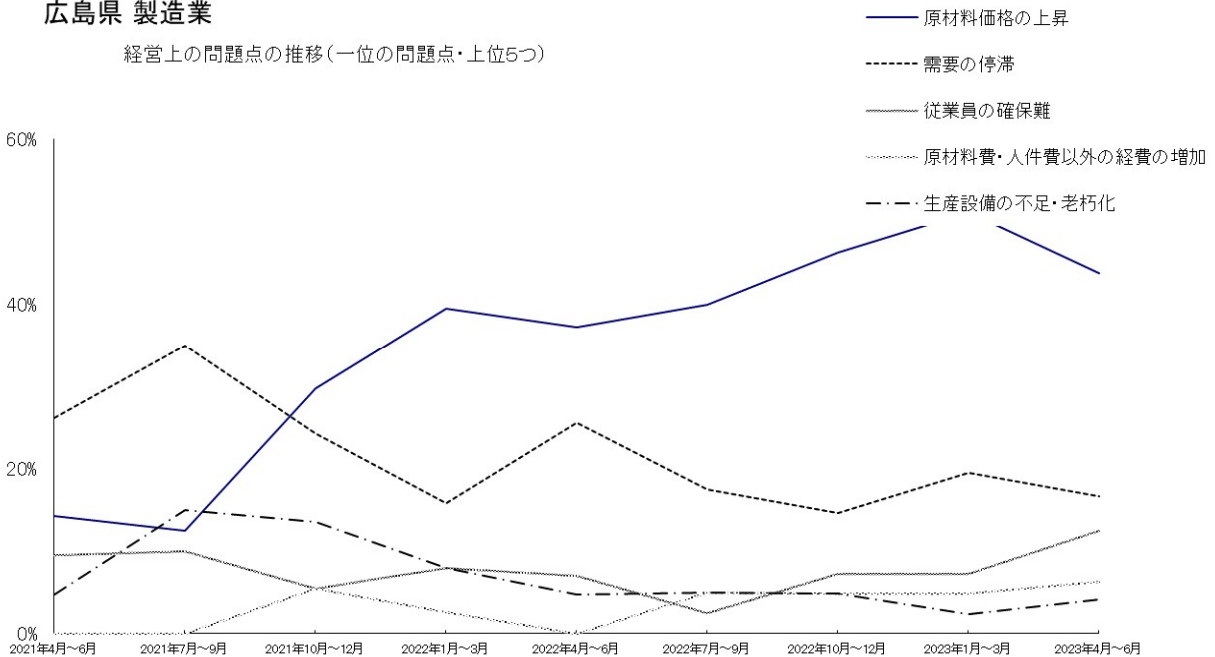
設備投資の状況



5.経営上の問題点（1位の問題点・上位5つの推移）

広島県 製造業

経営上の問題点の推移（1位の問題点・上位5つの推移）



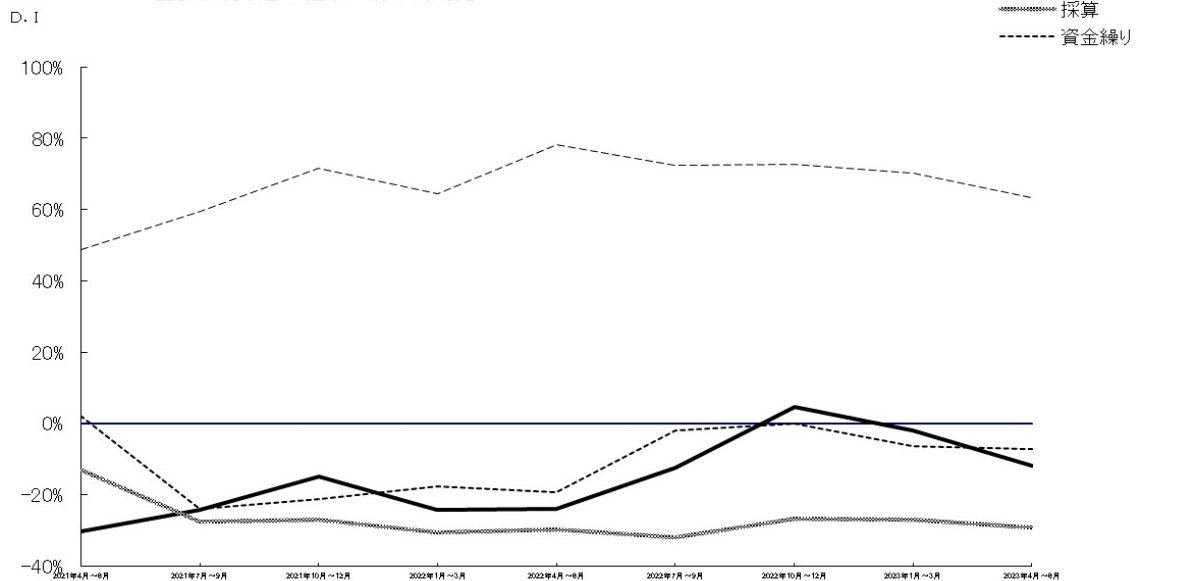
建設業（商工会地域）

1.主要景況項目の推移 -前年同期比-

主要項目	建設業 D (前期)		(今期)		(来期見通し)	
	R5.1~3	R5.4~6	前期との比較	R5.7~9	今期との比較	
売上額 (完成工事)	-2.0	-11.9	↓	-26.2	↓	
材料仕入 単価	70.2	63.4	↓	48.8	↓	
採算	-27.1	-29.3	↓	-31.7	↓	
資金繰り	-6.3	-7.3	↓	-12.2	↓	

広島県 建設業

主要景況項目の推移 -前年同期比-

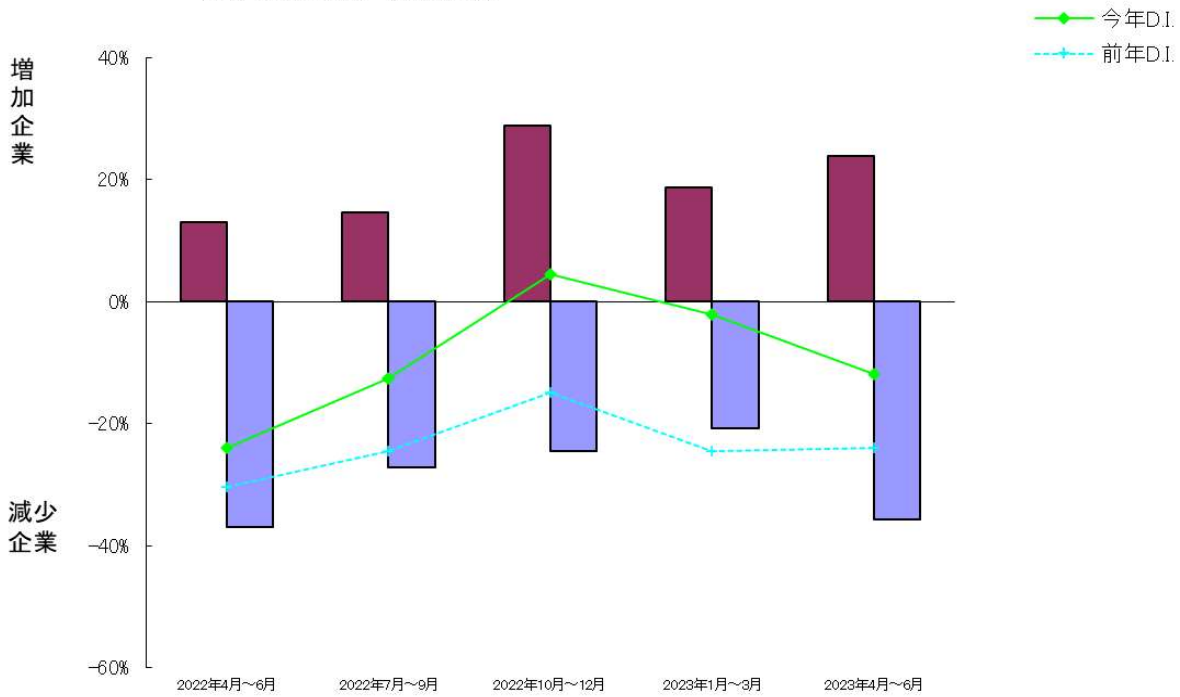


- 企業のコメント
- ・今年度の仕事量は、平均的に安定している。工事は増加傾向にあると思う。広島駅・サッカースタジアムなどに伴う工事。
 - ・材料の価格上昇が経費を圧迫していると感じる。
 - ・円高の影響で経済が低下したのが不振の要因。
 - ・材料資材の高騰で見積単価も上げている状況。
 - ・一般の客の貧困化で受注の低下。今後も好転するとは思えない。
 - ・材料価格の高騰で、仕事を受注しても利益率的には減少傾向にある。公共工事などは請負金額が大きい分、仕入れ単価高騰の影響は大きく、原価を抑えるための自社努力を限界まで行う計画ではあるが、そこには限界がある。

2.売上額(完成工事額) -前年同期比-

広島県 建設業

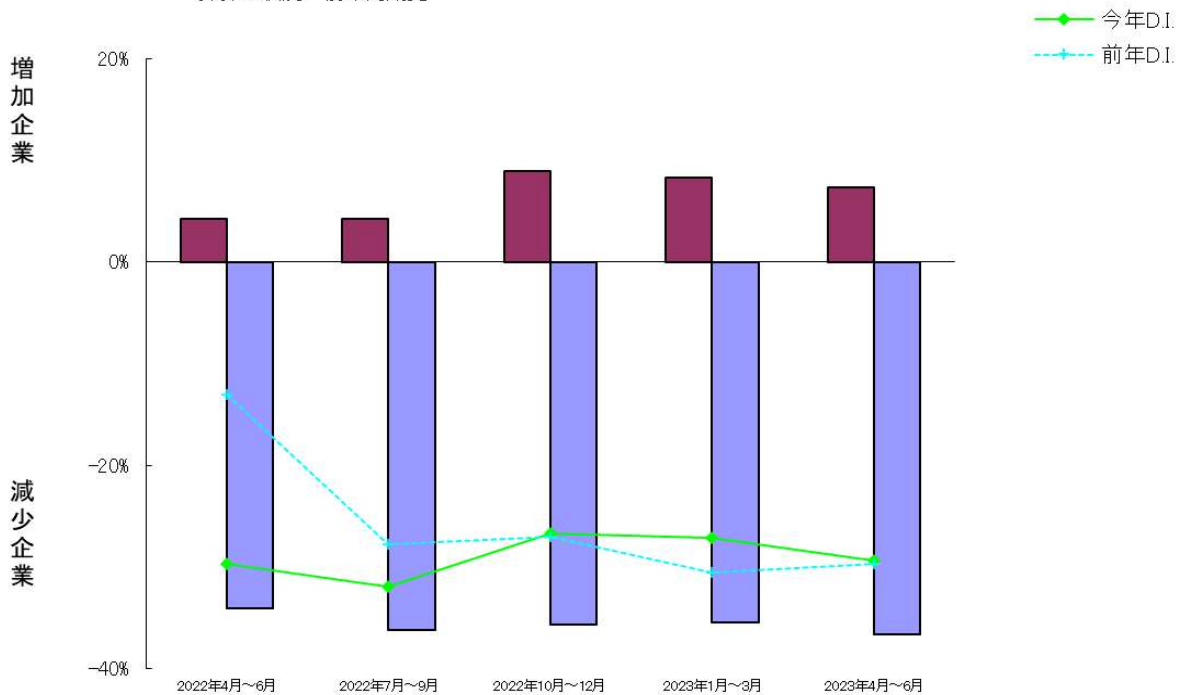
完成工事額の状況 - 前年同期比 -



3.採算(経常利益) -前年同期比-

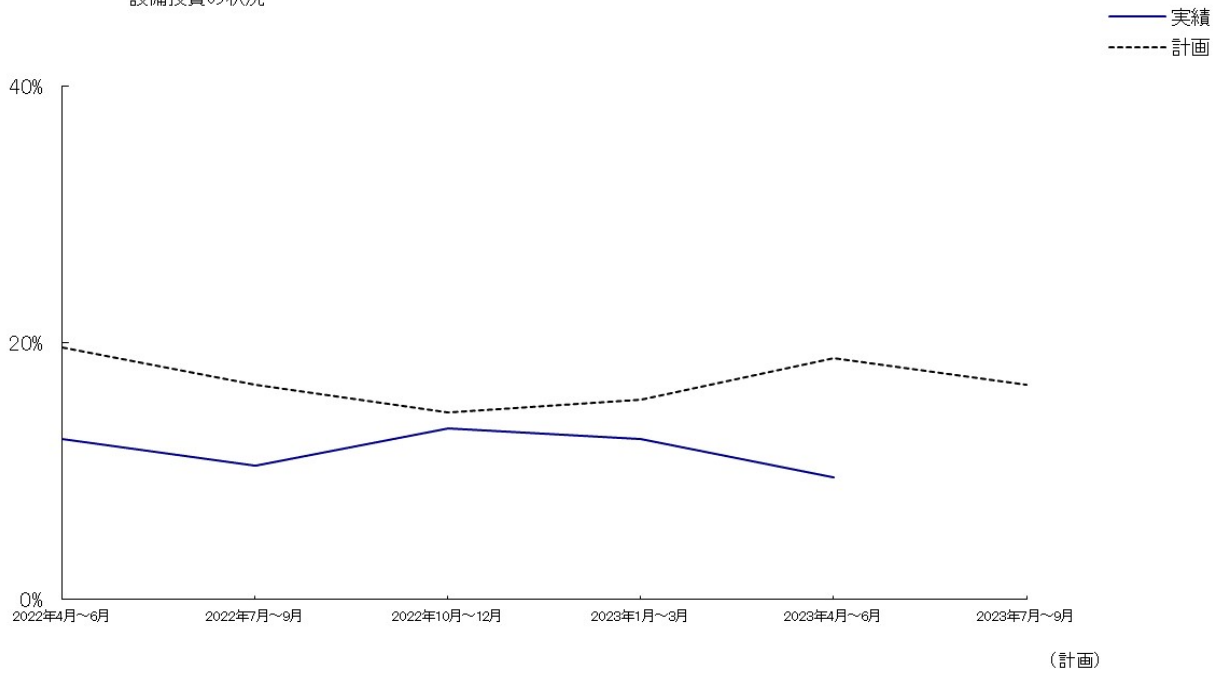
広島県 建設業

採算の状況 - 前年同期比 -



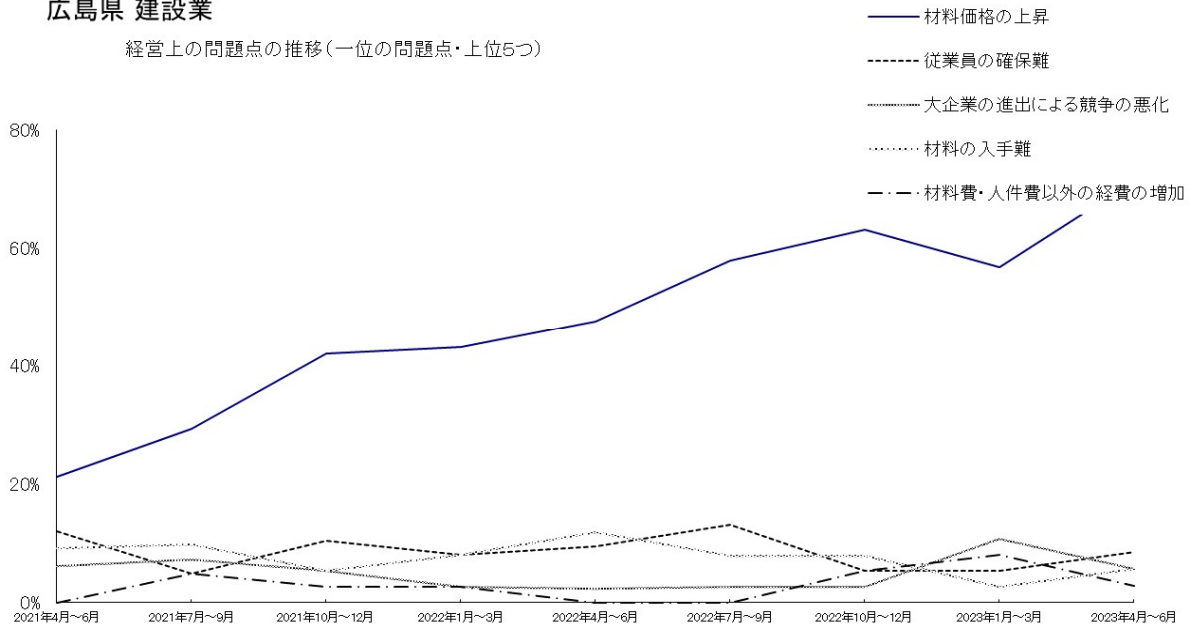
4.設備投資の状況

広島県 建設業
設備投資の状況



5.経営上の問題点（1位の問題点・上位5つの推移）

広島県 建設業
経営上の問題点の推移（1位の問題点・上位5つ）



小売業（商工会地域）

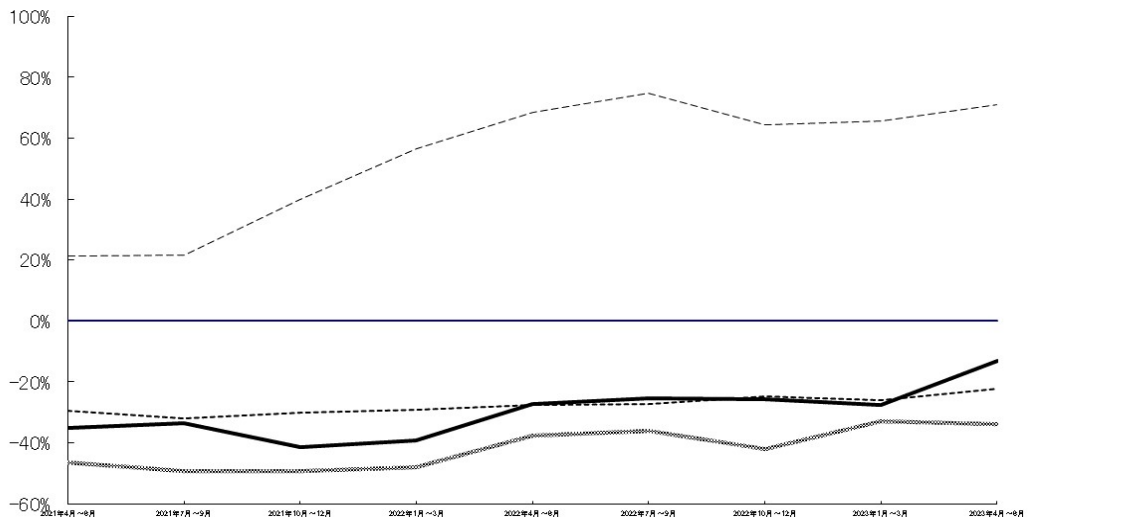
1.主要景況項目の推移 -前年同期比-

小売業 DI	（前期）		（今期）		（来期見通し）	
	主要項目	R5.1～3	R5.4～6	前期との比較	R5.7～9	今期との比較
売上額	-27.5	-13.0	↗	-17.4	↘	
商品仕入単価	65.7	71.1	↗	74.0	↗	
採算	-32.8	-33.8	↘	-26.4	↗	
資金繰り	-26.1	-22.1	↗	-20.6	→	

広島県 小売業

主要景況項目の推移 -前年同期比-

D.I



..... 企業のコメント

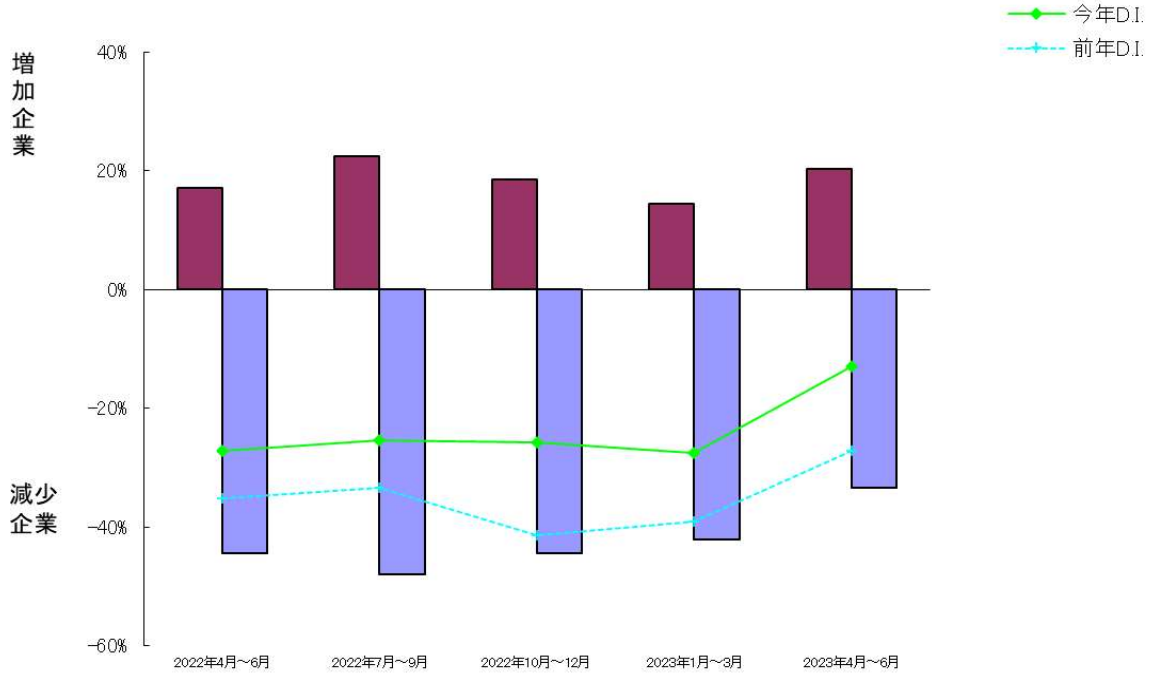
- ・依然として原油価格の高騰が続いており、円安も相まって仕入れ価格も厳しい状況にある。中々に厳しい。
- ・5月にコロナは5類に移行し、ハードルは低くなったものの、相次ぐ値上げなどで、販売は横ばい。仕入れ値や仕入れ環境が悪くなり、売上に反映されてない。同業者では廃業もでている。
- ・コロナの影響が薄らいで売上も上昇するかと思われたが、4・5・6月に関しては下落している。行動が自由になった分、他地域へ流出したと思われる。それから物価上昇によって財布の紐が固くなっていることも考えられる。
- ・仕入単価は上昇しているが適正な価格転嫁ができていない。
- ・地域の人口減少に加え、度重なる物価の値上げにつき、消費者をつなぎとめる手段もなく、先行き不安。
- ・仕入高・コロナ融資返済スタートなど、コロナ明けとはいえ苦しい状況は続いています。生活習慣の変更への対応も進めているが、結果を出すまで体力が続くか資金繰りへの心配が続いている。

小売業（商工会地域）

2.売上額 -前年同期比-

広島県 小売業

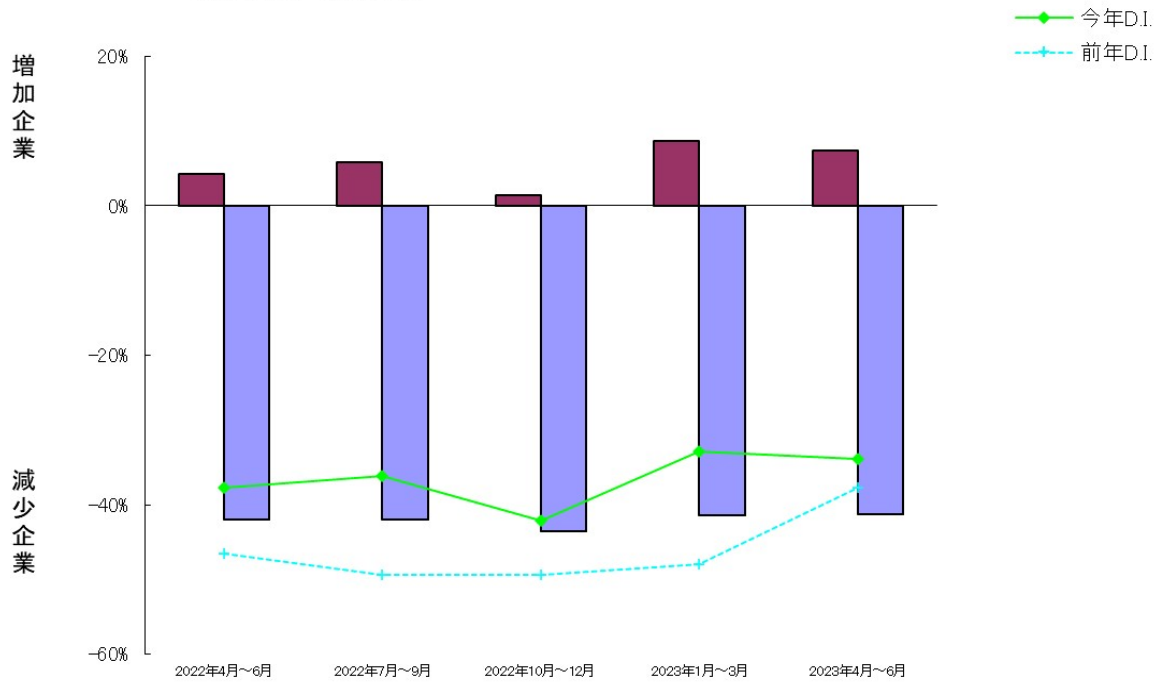
売上額の状況 - 前年同期比 -



3.採算（経常利益） -前年同期比-

広島県 小売業

採算の状況 - 前年同期比 -

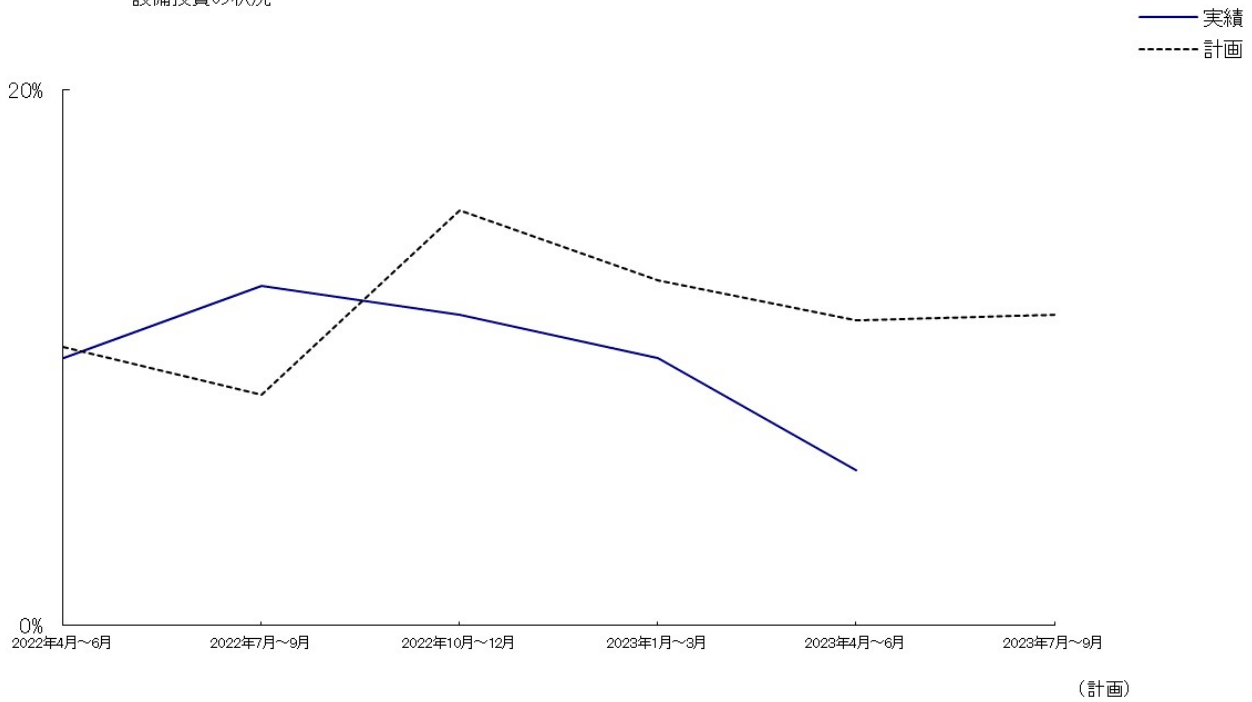


小売業（商工会地域）

4.設備投資の状況

広島県 小売業

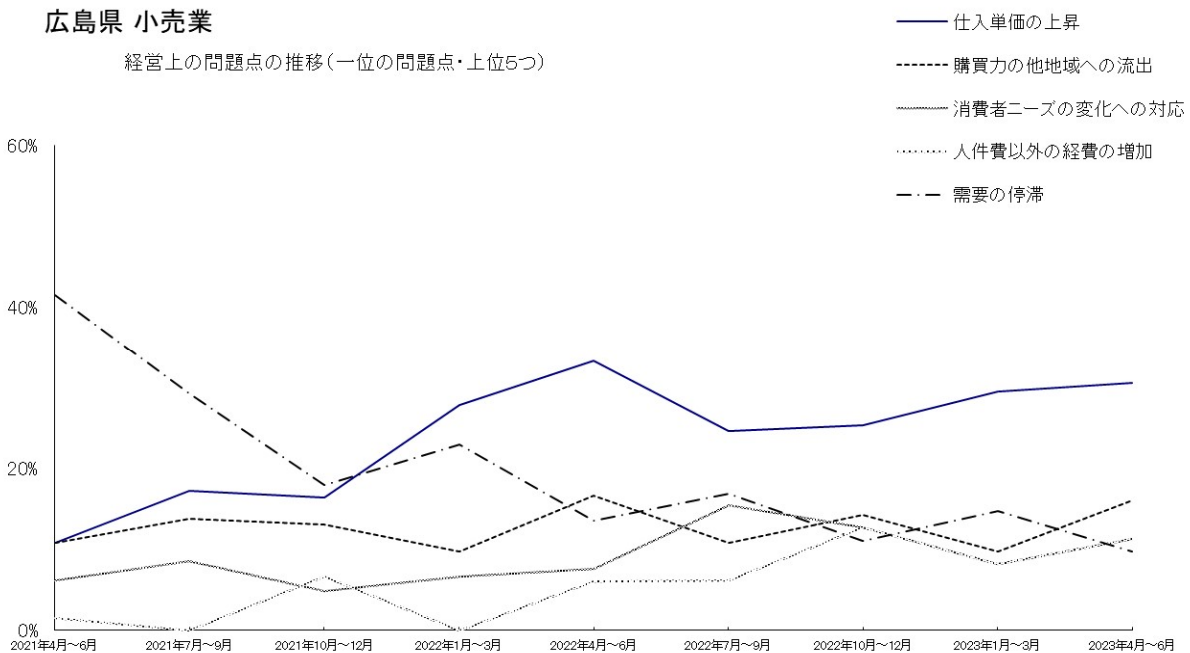
設備投資の状況



5.経営上の問題点（1位の問題点・上位5つの推移）

広島県 小売業

経営上の問題点の推移（1位の問題点・上位5つの推移）



サービス業（商工会地域）

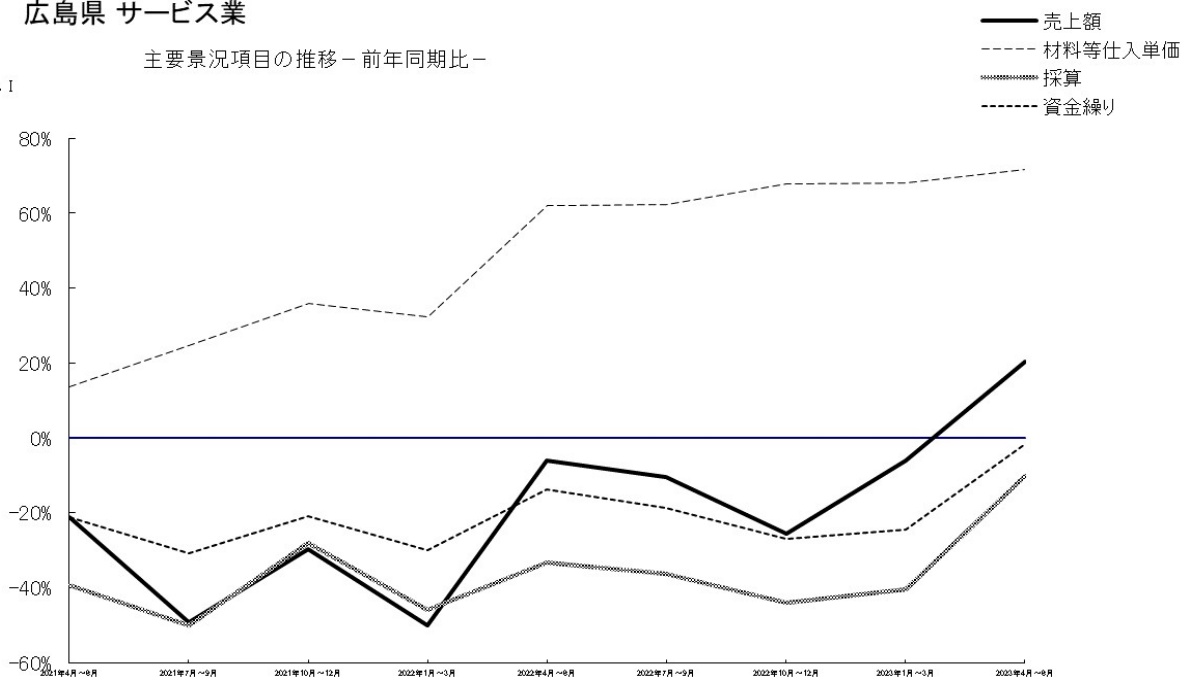
1.主要景況項目の推移 -前年同期比-

サービス業 DI	（前期）		（今期）		（来期見通し）	
	主要項目	R5.1～3	R5.4～6	前期との比較	R5.7～9	今期との比較
売上額	-6.0	20.3	↗	23.6	↗	
材料等仕入単価	68.2	71.6	↗	63.6	↘	
採算	-40.3	-10.2	↗	-10.2	→	
資金繰り	-24.6	-1.5	↗	-4.5	↘	

広島県 サービス業

主要景況項目の推移 -前年同期比-

D. I



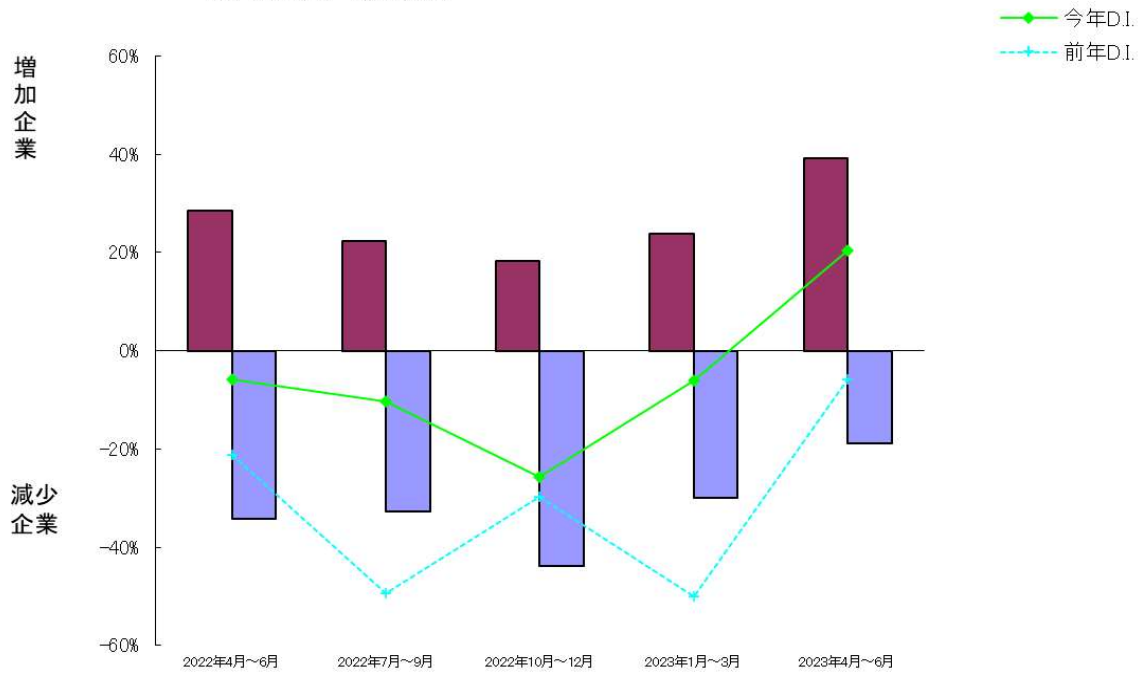
- 企業のコメント
- ・ 前年より新型コロナの感染やその拡大防止対策も縮小した中で、コロナ前の状況に元通りではなく、物価もどんどん値上がりすると、今必要なものだけが要求されて、不必要になってしまった物が今後も増えると考えます。
 - ・ 中古車の仕入価格が安くなっており、中古車販売が好調であるから。
 - ・ お客様の期待に添えるように、細かい工夫をいろいろ試している。そのための材料を取り揃えている。
 - ・ 新型コロナの分類が変更され、マスク着用義務が緩和されたことで人の動きが活発になってきた。店内利用者も家族などへ広がり始めており、活気が戻ってきたと実感している。
 - ・ 広島G7での輸送利用があり、観光客もコロナ収束から増加しつつあるものの、コロナ禍に減った運転者が戻ってきていない為、今後は従業員の確保が業況に影響してくると思われる。
 - ・ コロナの収束によりお客様が増。昨年末に作成した自社ホームページをみて宿泊者が増えている。今年度中は増加する見込み。
 - ・ 売上は回復傾向。(コロナ前の水準)原材料価格やエネルギー価格の高騰が続く。

サービス業（商工会地域）

2.売上額(加工額) -前年同期比-

広島県 サービス業

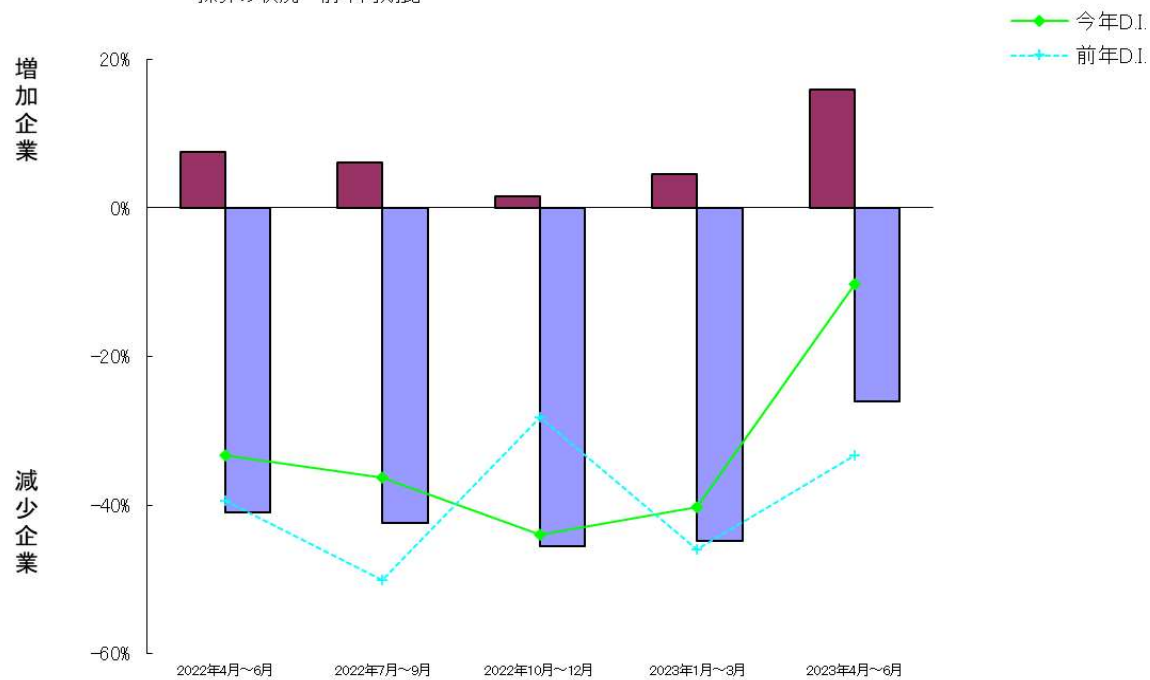
売上額の状況-前年同期比-



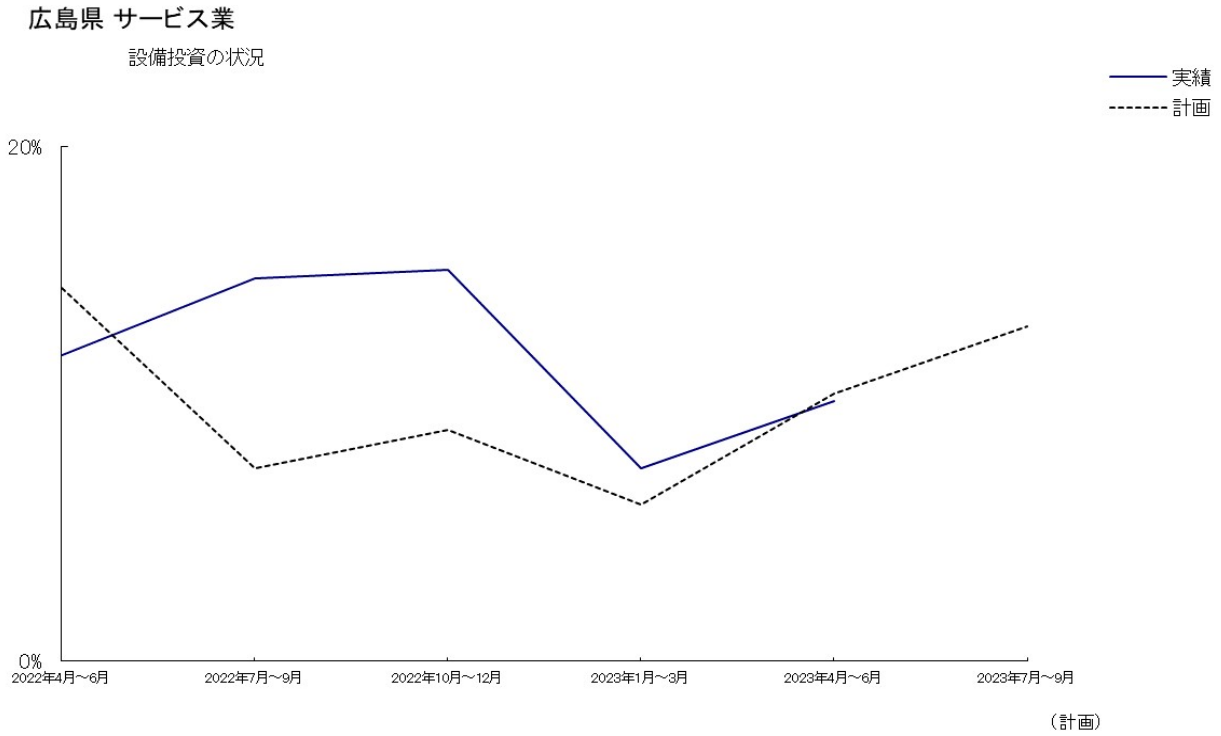
3.採算(経常利益) -前年同期比-

広島県 サービス業

採算の状況-前年同期比-



4.設備投資の状況



5.経営上の問題点（1位の問題点・上位5つの推移）

